

発行者：森松株式会社 編集者：小原龍一
 小坂美香
 創刊号：1985年7月 松井宣和
 伊藤雅典

波紋 Ripple

No. 310号

平成23年4月
 2011 Apr.

東北関東大震災で被災された皆様へ

3月11日(金)に発生した東北関東大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また被災された皆様、弊社取引先様の方々とそのご家族の皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

この地震の影響を受けて、停電や交通・物流機関の遅延などに起因して弊社事業において障害が生じております。ご迷惑をおかけいたしますことをお詫び申し上げます。

当社におきましては、救援物資の提供等出来る限りの支援をさせて頂く所存でございます。

一日でも早い復旧・復興をお祈り申し上げます。



「東北関東大震災発生」

社長 森 直樹



3月11日午後14時46分に発生した地震、「大変」という言葉では済まされない状況に陥っております。幸運にも名古屋、島原、地震の揺れは許さない状況です。首都圏の様な計画も、屋敷地、通常の生活を送ることができています。停電も無く、通常通りの生活を送ることができています。このように生活が迎えることと肌身に染みませないか、レビの画面を通じて、避難を余儀なくさせられずにいる状態も、住環境も苦しい中での生活を強いられていない人たちの見ると思わず何か助けに行くことはできない人だ。森松から何が出来るか？

普段通りの生活を続け、経済活動を継続させることに。そうすることで、義援金や寄付も可能で、手助けをすることになるかもしれない。沈んでいくのも、努めて普通にあるか、沈んでいくのも、事の上手く普通にあるか、沈んでいくのも、明らかに振舞うぐらいの気持ちです。以上、この場を借りてお礼を申し上げます。海外より皆様、また、見舞いと激励のメールを寄せてください。

この場を借りてお礼を申し上げます。海外より皆様、災にかメールをいただき、感謝しております。そして、一日も早い復興を願っております。

「津波の猛威と恐怖！明日は我が身」

光田 昭男(企画営業部)



東北地方太平洋沖地震、マグニチュード9、被災された方、深くお見舞い申し上げます。被災地の被害拡大の様子を見ると本当に心が痛みます。名古屋では震度3程度でしたが今までに経験の無い、本社ビルの揺れを感じ、事務所の皆さんが、怖く感じたそうです。私は、車に乗っており、信号待ちで車が揺れるのを感じ、名古屋高速の下を走行しており名古屋高速を見上げると、ゆらゆらと動いていることを確認し、もしかかを感じてしまい4車線の左側に移動しました。その後、お客様にて打合せをしたところに、テレビがあり報道されているのが、仙台空港などが冠水する程度の映像しか映し出されず、あくあ車が流される程度だったのが、翌日になると状況が変わり、悲惨な光景が報道され、驚きと悲しみでいっぱいとなりました。津波の高さが10m以上になり、津波の恐ろしさに言葉がなくなり、繰り返し返される津波が押しよせる映像に、すぐ近くまで津波が接近しているのに車に乗り込み、逃げる様子が写しだされた。だが、状況から見ると、間違いなく津波に飲み込まれている。津波警報から約20分まで到達しているが、20分間で、何が出来るのか、お年寄りの両親と子供を自宅に残し、なかには寝たきりのお年寄りもいたであろう、共働きの通勤時間が片道15分間必要で、避難場所までが10分以上が必要となるとしたら自宅へは帰ることが出来ない。普通に歩くことが出来ないお年寄りは、自宅にとどまることになってしまったと思う。2階へ非難したとしても、屋根以上に水位が上がればどうすることも出来ないであろう。報道では、消防団の方が、最後まで非難するように呼びかけて津波にのみこまれて亡くなってしまっている。正義感・責任感のある方々が亡くなっている確率は高いと感じる。自分がこの場にいたらどうしていただろうと思わずにはいられない。人口1万人の町が、行方不明5千人、半分の命が奪われている。数分で、なにかも全てを無くしてしまふ。考えただけで怖くなる。福島原発の危機、関東地方の計画停電など、復興にはとてつもない努力とお金が必要になることと思う。私達も、東海地震を覚悟しなければならぬでしょう。

「困った時はお互い様」

安井 浩二(企画営業部)



3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震・津波災害にて被災された各地域の皆様、ならびにご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。震災により物流網の混乱や、生産工場の操業停止などが影響し、首都圏などのコンビニやスーパーなどで不安を募らせた住民により生活用品などの買占めが起り始めている。との報道。名古屋でも同じような現象が起きています。ホームセンター、大手薬局店が普段になく盛況の様子。実際に店に入ってみましたが、防災用品・乾電池・ミネラルウォーターなど品切れであった。被災地へ物資を供給するための人もいたと思いますが、ワゴン車を引きながら買い物をしている人達の会話を聞いてみると、そうでない人達も多く感じました。確かに「備えあれば」。しかし、東海地方にも災害が起きるかわかりません。しかし、懐中電灯の一つぐらゐる家の中にあるでしょう？そんなに食料を買い込んでどうするの？本当に今、必要なの？また、店側も「お一人様、何個まで」「入荷未定」などの表示は余計に購買心理をおおる様な気がします。今は被災地の人達が優先です。その人達のことを思えば、買占めはできないと思います。未曾有の災害で非常事態にもかかわらず、日本人は「譲り合いの文化」「略奪ゼロ」と冷静な対応に世界のメディアは絶賛しています。このような時にこそ、「困った時はお互い様」です。日本人の礼儀正しい文化を大切にしたいと思えます。(災害から5日目に書きました)

新商品

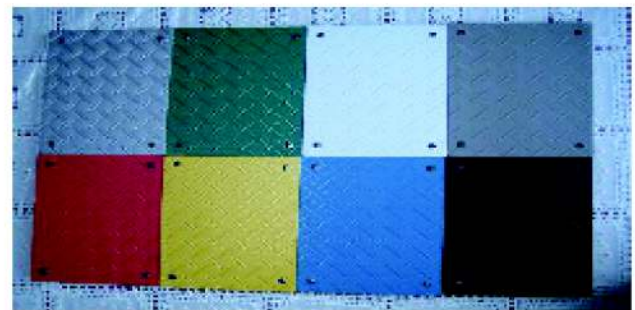


軽くて、丈夫。環境にやさしいPVCマット

Ecoサイクル敷板マット

軟質塩化ビニールコンパウンドに半硬質、硬質PVCを混入してマット状にしたものです。

- 一般に使用されている鉄板に比べて約39kgと非常に**軽**く、運搬・設置が容易に行えます。
※鉄板の重さ:1mx2mx12mmx比重7.85kg=188.4kg 約5倍の重量差がございます。
- 材料は**リサイクル**。しかも、ご提案商材は**再リサイクル可**です。
- 丈夫**で長持ち。経時による劣化を最小限まで抑えることに成功！！
- クレーンなどの危険な吊り作業が不要の為、**安全・経費削減**。
- 建設現場の養生・ゴルフ場及び各種イベント会場など、**用途**は無限に広がります。
- 軽トラックにも積みやすく、持ち運びがしやすい**サイズ**。
- カラーは**全8色**からお選び頂けます。
- サンプル**は本社5Fに展示中、本社玄関ポスト前にも展示していますので、実際に手で触ってみてください。



1枚の大きさ	1,000mmx2,000mm	参考上代価格	21,000円(税込)
1枚の重さ	38kg(±0.5)	色	ブラック・シルバー・グリーン・ブルー イエロー・レッド・ホワイト・グレー
厚み	12.5mm(±0.5)		
耐荷重	約60t	受注ロット	1パレット 40枚 約1,500kg
穴径	16Φx8箇所		

専用止め具



装着時:表



装着時:裏



○お問合せ先

森松 株式会社 特販部 伊東部二

TEL:052-612-8972 FAX:052-619-1867

4月の予定

2日(土) 第1土曜日休み
(休業実施日)

9日(土) 第2土曜日休み

12日(火) 土田義紀さん誕生日

14日(木) 伊東郁二さん誕生日

16日(土) 第3土曜日休み
(休業実施日)

17日(日) 三輪りつ子さん誕生日

22日(金) 生産会議 12時～13時

経営会議 13時30分～14時20分

CS向上会議 14時30分～15時30分

23日(土) 松村恵美さん誕生日

29日(金) 昭和の日

30日(土) 第5土曜日休み

※5月の連休

1日(日)～8日(日) 8日間

「花粉症」

大和田 夕美 (企画営業部)



昨年はあまり症状が出なかったのですが、先日ゴルフに行ってすっかり花粉症の症状が出てしまいました。今年は花粉飛散量が例年より多いと聞いていたので、前もって洗濯物は部屋干し、窓を開けず、空気清浄機とマスクで、準備OKでした。ゴルフ場も場所によって花粉量は全然違うようです。すごかったです。とりあえずと、薬局に駆け込んだのですが、たくさんの種類の薬があるんですね。内服薬、点眼薬、塗り薬、服にスプレー等。どれがいいのかさっぱり分からなくて、あれこれ手にとっては見ても、よく分からない……。説明書見ても、よく分からない……。とりあえずよく聞く名前の薬を手にとって、お会計。これで楽になれるかも。薬を飲んで、効果ありました。鼻水とくしゃみが止まって良かった。良かった。翌々日ぐらいから、手がかゆい、足がかゆい……。蕁麻疹までも。体が弱っている時に、合わない薬を飲んだからなのでしょう。日本中の杉の木を、全部切ってしまう。まだ花粉のピークになります。これからまだだけ続くのかと考えるとぞっとします。

「悔しい出来事」

小原龍一 (営業部)



「この度の震災により被害を受けられた皆さま、また、被災地に所縁の深いご関係の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。」
先日、地元の名古屋で大雪が降った日の出来事です。出勤しようといつものように駐車場に駐車していた車に乗り込もうと、手でドアを開けた瞬間に助手席の窓ガラスがこなごなに割られていました。そうです。車上荒らしです。散乱していた窓ガラスを見て、なんともやりきれない気持ちになり、初めての体験でなにかすれば良いのかも解らず、しばらく放心状態になっていた記憶があります。とりあえず警察署に電話したのですが、雪の影響などで朝から交通整備の業務をしている警察官はなかなか来てくれず、自宅で待機すること約1時間後に警察官が到着。車内から指紋を採取して貰い、警察官に犯人が見つかる可能性を聞いたところ、ほとんどが見つかからないそうです。
窓ガラス+カーナビと被害総額にして約10万円の痛手……。全てが自己責任なの解っているからこそ悔しい出来事でした。